

音読

はつきりとした声で、  
すらすらと読みましょう

年

名前

発音・発声1

発音や発声の練習になる早口言葉です。

はつきりとした声で、なめらかに読むことができるように、音読の練習をしましょう。

あめんぼの歌

北原 白秋



あめんぼあかいなあいうえお  
うきもにこえびもおよいでる  
かきのきくりのきかきくけこ  
きつつきこつこつかけけやき  
ささげにすをかけさしすせそ  
そのうをあさせでさしました  
たちましょらっぱでたちつてと  
とてとてたつたととびたつた  
なめくじのろのろなにぬねの  
なんどにぬめつてなにねばる  
はとぽっぽほろほろはひふへほ  
ひなたのおへやにやふえをふく  
まいまいねじまきまみむめも  
うめのみおちてもみもしまい  
やきぐりゆでぐりやいゆえよ  
やまだにひのつくよいのいえ  
らいちようさむかろらりるれろ  
れんげがさいたらるりのとり  
わいわいわっしよいわるうゑを  
うえきやいどがえおまつりだ

(水馬 赤いな あいうえお)  
(浮藻に 小蝦も 泳いでる)  
(柿の木 栗の木 かきくけこ)  
(啄木鳥 こつこつ 枯れ樗)  
(大角豆に 酢をかけ さしすせそ)  
(その魚 浅瀬で 刺しました)  
(立ちましょ 喇叭で たちつてと)  
(トテトテ タツタと 飛び立った)  
(蛞蝓 のろのろ なにぬねの)  
(納戸に ぬめつて なにねばる)  
(鳩ポッポ ほろほろ はひふへほ)  
(日向の お部屋にや 笛を吹く)  
(蝸牛 ネジ巻 まみむめも)  
(梅の実 落ちても 見もしまい)  
(焼栗 ゆで栗 やいゆえよ)  
(山田に 灯のつく よいの家)  
(雷鳥 寒かろ らりるれろ)  
(蓮花が 咲いたら 瑠璃の鳥)  
(わいわい わっしよい わるうゑを)  
(植木屋 井戸換へ お祭りだ)

	よい姿勢	よく聞こえる	すらすらと読める	はつきりした発音
私の評価 (◎・○・△)				
先生の評価 (◎・○・△)				

(◎ とてもよい ○ よい △ もう少し)

読んだ数 (○で囲む)	
11	1
12	2
13	3
14	4
15	5
16	6
17	7
18	8
19	9
20	10